



できごと

「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」をご存知ですか？ この原画展は、ポロニア国際絵本原画展と並ぶ世界規模の絵本のコンクールです。既に『子ども図書研究室だより』 23 では、酒井駒子氏の『金曜日の砂糖ちゃん』が金牌を受賞したことをお伝えしました。

当館では、右のイベント情報にあるとおり、静岡アートギャラリーで「原画展」が開催されるのに合わせて、今月から関連する絵本の展示等を行います。この機会にどうぞ、当館1階の子ども図書研究室とグランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」にお立ち寄りいただき、絵本という身近な芸術をお楽しみください。(裏面にて、概要を紹介します。)

子ども図書研究室のテーマ展示

ただいま展示中です！

「一番新しいクリスマスとお正月の本」

(2005年以降に出版された本)

「ブラティスラヴァ世界絵本原画展に寄せて」
新着図書も常時展示中です。

イベント情報

「世界の絵本がやってきた

ブラティスラヴァ世界絵本原画展」

2005年度受賞作品や日本人作家の作品を中心に、世界の絵本の魅力を紹介します。

会場：静岡アートギャラリー

(静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡3階)

期間：10/7(土)～11/26(日)

休館日：毎週月曜(10/9は開館) 10/10

入館料：一般1,000円/大高生800円/中学生以下無料

問合せ先：TEL 054-289-5400

新着図書から

絵本

『むしむしだあれ?』



はじめてのしぜんえほん

今森光彦 / さく

今森洋輔 / え

童心社

2006年6月

物語

『おれはレオ』



おはなしパレード

佐々木マキ / 作

理論社

2006年6月

「あれっ? まあるいよ なんだろう?」とこことここダンゴムシ。この絵本は、チョウやカマキリなど、身近な自然にいる小さな昆虫の姿を大きな絵で丁寧に描いている。

作者の今森光彦氏は写真家であるが、本作品は氏の弟で、細密画家の今森洋輔氏との共著。シンプルな細密画を用いることで、子どもの目を引きつけるとともに、本物そっくりな昆虫たちをいきいきと表現している。

子どもが自然に親しむための、初めの1冊に適した絵本。【1才ぐらいから】 (渡辺勝)

女の子がサイ・ヘビ・ライオンとそれぞれ回文(前から読んでも後から読んでも同じ文)で対決する3つの話から成る。3回間違えた方が負け。ひたすら回文が続くが、関係ある言葉で繋がっていたり、食べ物に限定したりして、話が進んでいく。「焼いたイカ買いたいや」など、本当に回文になっているか、また間違えたとき、どこが間違っているかを確かめたいくなる。読んでもらうのではなく、自分で、または友達と一緒に読むのが楽しい本。前作『なぞなぞライオン』もおすすめ。【小学校低学年から】 (殿岡)

「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」によせて

ブラティスラヴァ世界絵本原画展(略称BIB)は、1967年、チェコ・スロヴァキア連邦共和国(当時)の都市ブラティスラヴァで第1回展が開催された。その後、同国は1993年に分離独立し、現在はスロヴァキア共和国の首都となったブラティスラヴァで開催されている。開催は2年ごと奇数年で、国際アンデルセン賞と交互に発表される。

同じように国際的な絵本原画展であるボローニャ国際絵本原画展が、公募制で、未発表の原画もその審査対象に含めているのに対し、このBIBは、出版された絵本の原画を対象とし、また、国内審査を経て出品される。そのため、ボローニャ世界絵本原画展が新人作家の登竜門、BIBがプロのコンクールとしての性格を持つと言われている。

各国から20名まで、作家1人につき過去2年以内に出版した2冊までの絵本から計10枚までの原画を出品でき、各国ではイラストレーションと絵本文化の専門家による委員会を設置し、出品作品の選考に当たる。これらの出品作品の中から、国際審査委員会が、グランプリ1名、金のりんご賞5名、金牌5名と、出版者を表彰する出版奨励賞を決定する。

原画による審査は、絵と文章とが一体となって成立する絵本の中から原画のみを取り出して評価することの問題点を指摘される一方で、印刷技術や言語の違いを超えて、様々な国からの出品作品に同じ条件を与えることができると考えられている。

日本は第1回展から出品し、その第1回展のグランプリを瀬川康男氏が受賞した。その後、第17回展では中辻悦子氏が、第19回展では出久根育氏が、それぞれグランプリを受賞している。また、金のりんご賞を安野光雅氏、

梶山俊夫氏、谷内こうた氏が各2回受賞するなど、各賞を受賞した日本人作家は多い。

BIBについては、やまねこ翻訳クラブHP(<http://www.yamaneko.org/>)内の記述を参考にさせていただいた。

静岡アートギャラリーで行われる原画展に合わせ、当館では下記のとおり絵本展示等を行う。

子ども図書研究室(当館1階)

展覧会出品作のうち、日本人の「受賞作と出品作」の絵本、及び、チェコの絵本とその関連図書の展示。

期間：10月1日(日)～11月29日(水)
グランシップ県立図書館コーナー

「えほんのひろば」(グランシップ2階)

展覧会出品作のうち、日本人の「受賞作と出品作」の絵本の一部やその作家の絵本の展示。

期間：10月1日(日)～11月30日(木)
協賛おはなしかい
開催日：10月12日(木)・
11月2日(木)・19日(日)
時間：10:30～

(子ども図書研究室では資料の貸出は行いません。詳しい内容については静岡県立中央図書館までお問い合わせください。)

所蔵資料から

絵本

『ふしぎなたけのこ』



松野正子 / さく
瀬川康男 / え
福音館書店
1963年6月

ぐんぐんぐんぐんと、どこまでも空へ伸びていくたけのこに、たろは思わずしがみついた。

横長の版型を活かしたダイナミックな画面展開が、楽しい驚きを与えてくれる。第1回BIBグランプリ受賞作。【幼児から】

(鈴木)

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。